

2013「オホーツク圏観光振興セミナー」開催要領

—北海道遺産「オホーツク古代遺跡群」の観光活用を考える—

1、目的

我が国の古代史の学習では、旧石器時代、縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良、平安、鎌倉・・・と教えられます。しかし、北海道では弥生時代はなく、続縄文、擦文、アイヌ文化・・・と独自の文化が続きます。オホーツクではさらに異なり、続縄文から擦文時代にかけて北方から渡ってきた民族が、独自の文化を形成しています。彼らの遺跡はオホーツク海沿岸に数多く残され、学術的にも極めて貴重とされていますが、あまり観光面での活用がありませんでした。

当連盟では2008年度から、これらの遺跡群を観光面でも活用したいとパンフレットの作成やマスコミ招聘、遺跡巡りツアー、紹介DVDの作成、スタンプラリーなどの取り組みを続け、徐々にではありますが周知されてきていると認識をしています。

追い風としては2011年に遠軽町埋蔵文化財センターがリニューアルオープンし、本年5月にはオホーツク人文化発見の貴重な遺跡である網走市のモヨロ貝塚館がリニューアルオープンの予定であり、今後オホーツク沿岸の古代遺跡群への関心が加速していくと思われれます。

本セミナーでは、オホーツクならではの特色ある歴史や古代文化の貴重性を再確認し、オホーツク圏観光のさらなる魅力づけのため、その効果的な観光活用方策等について共に考えることを目的に開催いたします。

2、主催 オホーツク観光連盟

3、後援 オホーツク総合振興局 オホーツク町村会 オホーツク管内商工会議所協議会
(予定) オホーツク管内商工会連合会

4、日時 平成25年3月22日(金) 13時30分～15時30分 (13時受付)

5、会場 ホテル黒部

6、内容

シンポジウム

(1) 開会挨拶 13:30～13:40

(主催者) オホーツク観光連盟 会長 大江 友広

(ご来賓) オホーツク総合振興局 観光室長 小林 靖昌 氏

(2) パネルディスカッション 13:45～15:30

進行係	オホーツク観光連盟	専務理事	伊藤 正範
パネリスト	①遠軽町埋蔵文化財センター	係長	松村 愉文 氏
	②斜里町立知床博物館	主幹	松田 功 氏
	③紋別市立博物館	前館長	佐藤 和利 氏
	④網走市立郷土博物館	館長	米村 衛 氏
	⑤とほろ遺跡の森	所長	武田 修 氏

7、参加料 無料

8、募集人員 80名

9、申込方法 FAXまたは電話にて申し込み

10、申込期日 平成25年3月15日(金)

11、申込並びに問合せ先

オホーツク観光連盟事務局

網走市北7条西3丁目(オホーツク合同庁舎)

TEL(0152)45-1885 FAX(0152)43-4848

